

## 鳴門市水道事業ビジョンの一部改訂について

### 1. 改訂の基本的な考え方

平成28年3月に策定した「鳴門市水道事業ビジョン」は、国が策定した新水道ビジョンに基づく、水道事業の基本的な方針を定める「水道事業ビジョン」として策定しましたが、その内容の一部として、国が全ての公営企業に対して策定を要請している公営企業の経営の基本計画である「経営戦略」を含んだものとして策定しました。

「経営戦略」については、概ね3年から5年ごとに成果検証と見直しを行うこととされているため、策定から5年を経過した令和3年3月に「鳴門市水道事業ビジョン」の一部改訂として「経営戦略」を見直すこととしました。

### 2. 見直しの具体的な内容

#### (1) 経営戦略について

- 収支見直しについて、平成28年度から令和元年度までは決算に基づく実績値に、令和2年度以降は現時点での見込み値に修正しました。
- 投資的な経費は厚生労働省が作成・公表しているアセットマネジメント簡易支援ツールを使用して再試算しました。
- 浄水場整備事業費を、鳴門市で単独整備した場合から北島町との共同整備をした場合に変更しました。

#### (2) 経営戦略以外の鳴門市水道事業ビジョンについて

- 策定時に定めた目標の達成状況等は、令和3年3月に公表した中間報告のとおりです。
- ビジョンの進捗状況や中間報告について、学識経験者や水道利用者で構成される鳴門市水道事業審議会においてご審議いただき、経営戦略以外の鳴門市水道事業ビジョンについては概ね計画通り進捗しており、見直しの必要はないとのご意見をいただいています。
- 今回の水道事業ビジョンの一部改訂では経営戦略のみの見直しとしたため、ビジョン内に記載されている現状分析や将来予測に使用した数値等は修正していませんが、参考までに現在の状況を次ページ以降に記載しています。

【鳴門市水道事業ビジョン（以下「ビジョン」という。）6ページ】

令和元年度末の給水状況

	本市数値	参考値
行政区域内人口（人）	56,540	
現在給水人口（人）	56,455	
普及率（%）	99.8	全国平均 98.0
年間配水量（m <sup>3</sup> ）	9,512,155	
年間有収水量（m <sup>3</sup> ）	8,308,293	
有収率（%）	87.3	同規模団体平均値 88.0
供給単価（円/m <sup>3</sup> ）	148.18	同規模団体平均値 173.57
給水原価（円/m <sup>3</sup> ）	121.32	同規模団体平均値 167.09

※1参考値はいずれも平成30年度末値

※2同規模団体は給水人口5万人以上10万人未満の団体

【ビジョン7ページ】

水源余裕率

水利権（m <sup>3</sup> /日）	一日最大配水量（m <sup>3</sup> /日）	水源余裕率
60,077（R1）	28,402（R1）	111.5%

【ビジョン8ページ】

水道事業会計の損益の状況

(単位:百万円)

科 目	H27	H28	H29	H30	R1
1 営業収益	1,141	1,052	1,094	1,088	1,255
1 給水収益	1,094	1,003	1,074	1,060	1,231
2 その他営業収益	47	49	20	28	24
2 営業外収益	82	79	95	94	94
1 長期前受金戻入	74	72	87	87	88
2 その他営業外収益	8	7	8	7	6
3 特別利益	1	-	-	1	174
収入合計	1,224	1,131	1,189	1,183	1,523
1 営業費用	1,053	1,090	1,091	1,092	1,049
1 原水及び浄水費	168	177	180	195	190
2 配水及び給水費	273	272	306	306	266
3 受託工事費	31	32	2	2	2
4 総係費	186	174	182	162	154
5 減価償却費	386	393	414	420	427
6 資産減耗費	9	42	6	5	10
7 その他営業費用	-	-	1	2	-
2 営業外費用	54	51	56	49	50
1 支払利息及び 企業債取扱諸費	51	50	50	48	47
2 その他営業外費用	3	1	6	1	3
3 特別損失	-	3	-	-	143
支出合計	1,107	1,144	1,147	1,141	1,242
当年度純利益	117	△13	42	42	281
前年度繰越 利益剰余金	26	143	130	32	74
当年度未処分 利益剰余金	143	130	172	74	355
総収支比率	110.6%	98.9%	103.7%	103.7%	122.6%
経常収支比率	110.5%	99.1%	103.7%	103.6%	122.7%
(類似団体平均)	112.7%	113.9%	111.1%	108.8%	

【ビジョン9ページ】

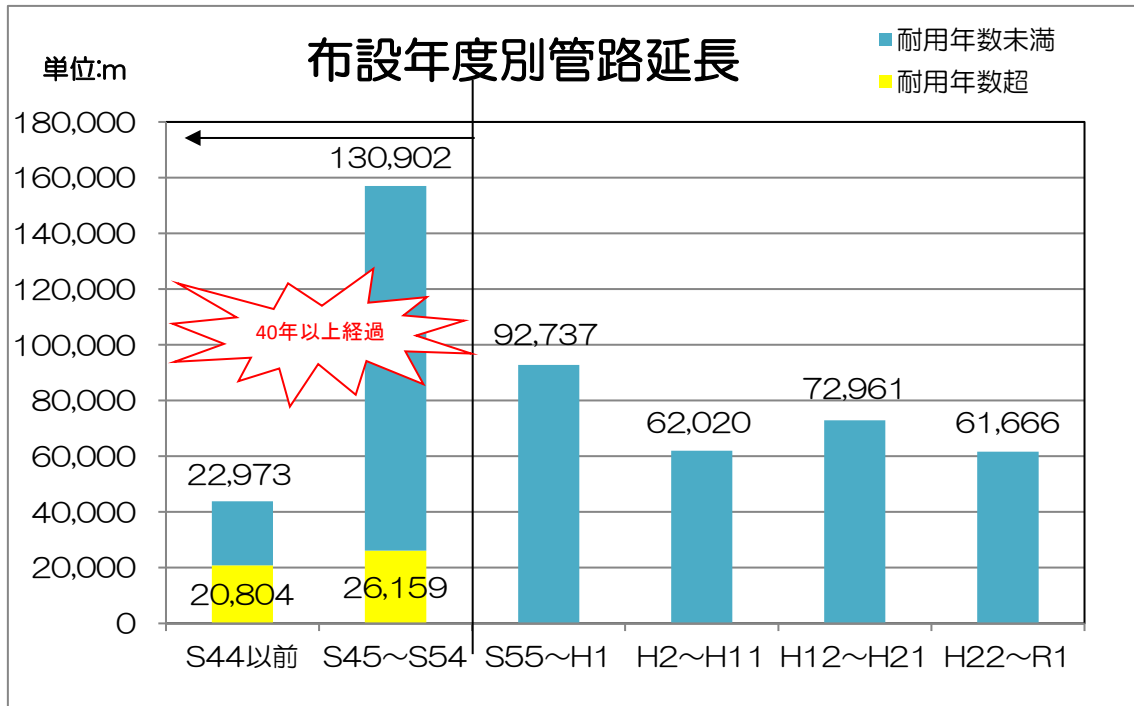
水道事業会計の貸借対照表の状況

科 目	H27	H28	H29	H30	R1
1 固 定 資 産	10,815	11,739	12,045	12,420	12,839
1 有 形 固 定 資 産	10,729	11,667	11,986	12,373	12,804
2 無 形 固 定 資 産	86	72	59	47	35
3 投 資	-	-	-	-	-
2 流 動 資 産	2,070	1,898	1,863	1,785	2,039
1 現 金 及 び 預 金	1,809	1,567	1,529	1,399	1,745
2 未 収 金	186	178	224	218	142
3 その他流動資産	75	153	110	168	152
資 産 合 計	12,885	13,637	13,908	14,205	14,878
1 固 定 負 債	2,845	2,961	3,274	3,444	3,754
1 企 業 債	2,715	2,839	3,157	3,350	3,656
2 引 当 金	130	122	117	94	98
2 流 動 負 債	807	579	484	529	525
1 企 業 債	147	145	142	138	138
2 未 払 金	556	369	277	325	329
3 引 当 金	14	13	13	14	14
4 その他流動負債	90	52	52	52	44
3 繰 延 収 益	1,553	2,431	2,441	2,482	2,567
1 長 期 前 受 金	1,553	2,431	2,441	2,482	2,567
負 債 合 計	5,205	5,971	6,199	6,455	6,846
1 資 本 金	6,590	6,590	6,590	6,590	6,590
1 自 己 資 本 金	6,590	6,590	6,590	6,590	6,590
2 借 入 資 本 金	-	-	-	-	-
2 剰 余 金	1,090	1,076	1,119	1,160	1,442
1 資 本 剰 余 金	61	60	61	61	61
2 利 益 剰 余 金	1,029	1,016	1,058	1,099	1,381
減 債 積 立 金	502	502	502	571	572
建 設 改 良 積 立 金	384	384	384	454	454
当 年 度 末 未 処 分 利 益 剰 余 金	143	130	172	74	355
資 本 合 計	7,680	7,666	7,709	7,750	8,032
負 債 資 本 合 計	12,885	13,637	13,908	14,205	14,878
自 己 資 本 構 成 比 率	59.6%	56.2%	55.4%	54.6%	54.0%
( 類 似 団 体 平 均 )	70.0%	70.5%	70.7%	71.1%	
流 動 比 率	256.5%	327.8%	384.9%	337.4%	388.4%
( 類 似 団 体 平 均 )	352.6%	359.8%	357.2%	351.5%	

## 水道事業会計のキャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	R1
業務活動によるキャッシュ・フロー					
(1) 当期純利益	117	△13	42	42	281
(2) 減価償却費	386	393	414	420	427
(3) 引当金の増減額	△22	△9	△3	△21	2
(4) 長期前受金戻入額	△74	△72	△87	△87	△88
(5) 固定資産除却費	8	42	7	5	10
(6) 有形固定資産売却損益	-	-	-	-	-
(7) 未収金の増減額	△21	6	△47	6	77
(8) 未払金の増減額	275	△187	△92	48	4
(9) たな卸資産の増減額	1	2	△3	1	△2
(10) 預り金の増減額	1	△39	-	-	△7
(11) その他流動資産の増減額	43	△79	45	△59	18
(12) その他の流動負債の増減額	-	-	-	-	-
(13) 一般会計納付金	-	-	-	-	-
業務活動によるキャッシュ・フロー	714	44	276	355	722
投資活動によるキャッシュ・フロー					
(1) 有形固定資産の取得による支出	△818	△478	△726	△787	△849
(2) 有形固定資産の売却による収入	-	-	-	-	-
(3) 国庫補助金等による収入	18	45	96	109	163
(4) 補助金返還金	-	-	-	-	-
(5) 他会計からの繰入金による収入	30	24	2	5	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△770	△409	△628	△673	△682
財務活動によるキャッシュ・フロー					
(1) 企業債による収入	390	270	460	330	444
(2) 企業債の償還による支出	△148	△147	△146	△142	△138
(3) 他会計貸付金返還金	-	-	-	-	-
(4) 他会計貸付金	-	-	-	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	242	123	314	188	306
キャッシュの増加額・減少額	186	△242	△38	△130	346
キャッシュの期首残高	1,623	1,809	1,567	1,529	1,399
キャッシュの期末残高	1,809	1,567	1,529	1,399	1,745

【ビジョン 11 ページ】



※1 口径φ75mm以上にかぎる

※2 ここでいう耐用年数とは法定耐用年数ではなく、実際に使用可能と思われる年数

【ビジョン 13 ページ】

職員数の推移 (単位:人)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
損益勘定職員	16	16	15	14	15
資本勘定職員	4	4	4	4	4
小計	20	20	19	18	19
再任用・嘱託職員	4	4	5	5	3
総計	24	24	24	23	22

給水人口1,000人当たりの職員数 (単位:人)

本市	0.40	0.41	0.41	0.40	0.39
同規模団体平均値	0.35	0.34	0.34	0.34	

(各年度4月1日現在)

【ビジョン 14 ページ】

水質の状況

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
カビ臭から見たおいしい水達成率	6 0	6 0	7 0	5 0	7 5
塩素臭から見たおいしい水達成率	5 0	5 0	5 0	0	0

【ビジョン 17 ページ】

本市の基幹管路の耐震化率の推移

年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
本市	1 9 . 9 %	2 0 . 6 %	2 2 . 8 %	2 5 . 0 %	2 7 . 3 %
全国平均	3 7 . 2 %	3 8 . 7 %	3 9 . 3 %	4 0 . 3 %	4 0 . 9 %

【ビジョン 17 ページ】

資機材備蓄の状況

資機材	数量
給水車（2 m <sup>3</sup> タンク）	1 台
給水タンク（1 m <sup>3</sup> ）	2 基
キャンバス水槽	5 0 0 ㊦用 1 基、1 0 0 0 ㊦用 3 基
折り畳み式応急給水用コンテナ	1 0 0 0 ㊦用 1 0 基
給水袋	2 4 0 0 袋（1 0 ㊦用）
緊急用給水栓	1 2 基

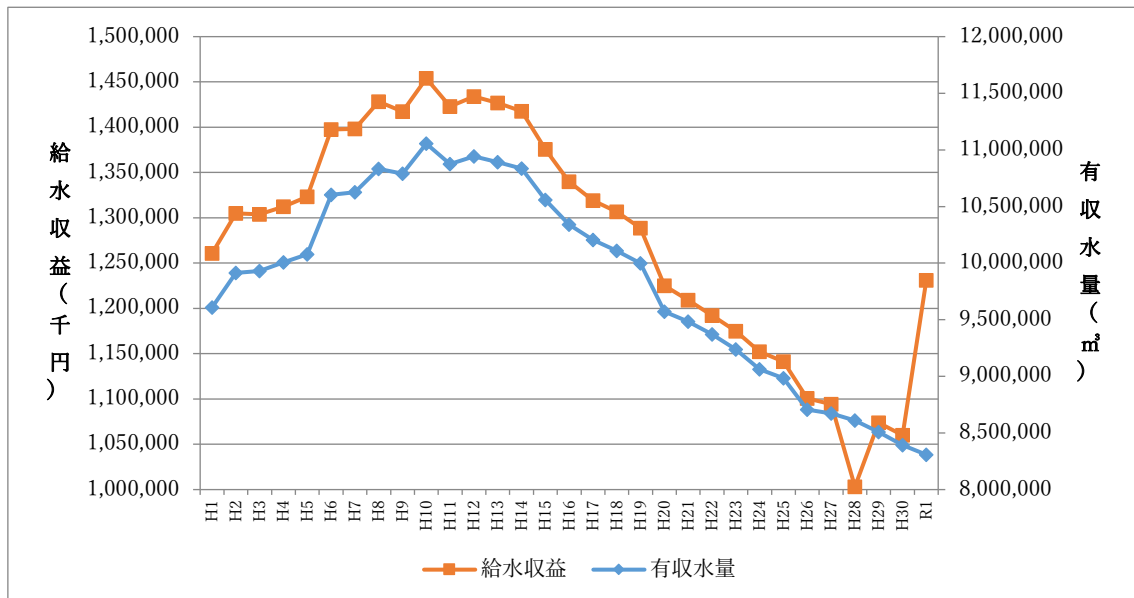
【ビジョン 19 ページ】

水道料金表（税抜）

メーター口径 (mm)	基本料金 (円)	従量料金				
		用途	使用水量	料金 (円/m <sup>3</sup> )		
13	280	一 般 用	第 1 段 10 m <sup>3</sup> まで	84		
20	300					
25	300					
40	1,920				第 2 段 10 m <sup>3</sup> を超え 20 m <sup>3</sup> まで	120
50	3,120				第 3 段 20 m <sup>3</sup> を超え 30 m <sup>3</sup> まで	156
75	8,400				第 4 段 30 m <sup>3</sup> を超え 50 m <sup>3</sup> まで	180
100	16,200				第 5 段 50 m <sup>3</sup> を超えるもの	192
150	43,800					
湯屋用	メーターの口径ごと				1m <sup>3</sup> につき	
特殊用	メーターの口径ごと	1m <sup>3</sup> につき		240		

【ビジョン 20 ページ】

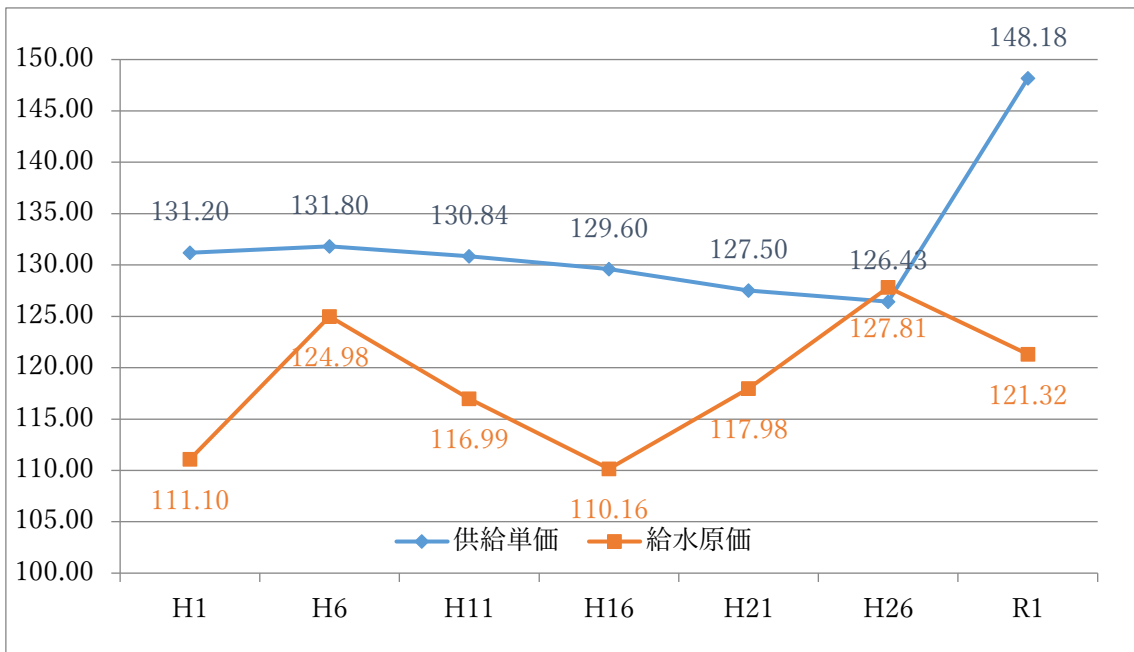
有収水量、給水収益の状況





【ビジョン 21 ページ】

供給単価、給水原価の状況



【ビジョン 24 ページ】

管路の総延長に対する更新実績 (単位 : m)

年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
更新延長	9, 0 6 0	5, 3 4 6	6, 5 9 4	6, 5 5 1	6, 8 2 0